



農業委員が管内視察 パッシブ水耕栽培のトマト圃場・風力発電所

農業委員会では、農業の現状を把握するため八月二十一日(火)、管内(市浦地区)の圃場及び風力発電所を視察しました。

この日参加した農業委員二十名は、市内では珍しいパッシブ耕という栽培技術によって、トマトを作っているハウスの圃場の生産者である山田正伸氏から、糖度が土耕栽培より高い点や、玉伸びの良さ、パッシブ耕に適した段間の短い品種についての説明を受けました。委員からは、施設の初期投下費用、生産時期、販売ルートや問題点などの質問をして、意見を交わしました。

その後、脇元地区へ移動し、自然エネルギーとして注目され、県内でも導入普及が進んできている風力発電施設の視察と、設置にとりもなう農地転用についての知識を深めました。また、周辺農地に及ぼす影響について確認しました。



パッシブ耕とは

肥料を有効に使用し、農薬をより少なく用いて、地球にやさしく、自然のエネルギーを最大限に利用したシステムです。

―特徴―

- **産業廃棄物の有効利用**
圃地には産業廃棄物のキルン灰(製紙工場でできる残渣物を炭化したもの)を植物栽培用に改良したものを使用します。
- **低コスト**
装置が自作できるので初期投下資本が少なく済みます。また、肥料の無駄もなくランニングコストが安くつきます。従って、連作回避の土作り、資材、労力はいりません。(低コスト)
- **温室・ハウスの暖房以外の化石エネルギーは不要**
培養液を循環させることもないのでポンプは必要ありません。また、培養液を入れるタンクも要りません。
- **省力的**
培養液をベットに入れば、地下部の管理(かん水等)は要りませんので省力的です。
- **病気が少ない**
培養液を循環させないため、根の病気に対する危険性が非常に少ない。

ご存じですか? 『人・農地プラン』

～あなたの農地は大丈夫ですか?～

今、私たちの地域・集落では、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加など多くの課題を抱えています。

5年後、10年後、私たちの地域・集落の農業・農地は誰が守っているのでしょうか。今のうちから将来に備えて、人と農地の問題を一緒に考えてみませんか。

『人・農地プラン』と、主なメリット

『人・農地プラン』は地域の農業を担う、やる気のある農業者を中心的経営体として位置付け、支援していくものです。地域の農地を安心して任せられる仕組みを一緒に作っていきましょう。

農地集積協力金(農地の出し手への支援)

中心的経営体に農地を貸して離農する人や、田んぼをやめてハウスだけに集中するような人には、一定の条件のもとで、農地集積協力金(面積に応じて1戸あたり30万から70万)が支払われます。

「もうそろそろ、田んぼをやめようかな」というような方は是非ご相談ください。

戸別所得補償の規模拡大加算(農地の受け手支援)

戸別所得補償制度加入者が円滑化事業によって面的集積するために6年以上の利用権設定をした場合は、10アールあたり2万円が農地の受け手に支払われます。

農地集積支援の主な要件と手続き

農地の出し手への農地集積協力金と、受け手への規模拡大加算の対象となるには、当事者同士で貸し借りを結ぶのではなく、円滑化団体に利用権設定の相手方を委任する必要があります。

農業委員会では、円滑化団体と連携して、農地の貸し借りのご相談に対応しています。

青年就農給付金(新規就農者への支援)

新規就農者が中心的経営体に位置付けられると、一定の条件のもとで、年間150万円の給付金を最長5年間受けることができます。「うちの息子が戻ってきて農業をやると言っているが、対象になるか?」という方もお問い合わせください。

スーパーL資金の無利子化(担い手への金融支援)

認定農業者が、中心的経営体に位置付けられると、一定条件のもとで、貸付当初5年間金利が実質無利子になります。

▶お問い合わせ先

五所川原市農業委員会 TEL 0173-35-2111 (内線2772)

五所川原市農林水産課 TEL 0173-35-2111 (内線2514)

第32回北五地区農業委員大会開催

7月24日(火)、中泊町総合文化センター『パルナス』において、第32回北五地区農業委員大会が開催され、当市から秋田谷和智農業委員が北五地区農業委員会協議会会長表彰(農業委員として8年以上在職)を受けました。

その後、議案の審議に入り、当市の徳田長弘農業委員から、『議案第1号 経営体育成支援事業に関する要望』が提案されました。その他、『議案第2号 野生鳥獣被害対策に関する要望』の提案もあり、両案が可決されました。可決された議案は後日要望書として、北五地区農業委員会会長である、斎藤靖裕五所川原市農業委員会会長から県、農業会議へと手渡されました。



食と農の講演会

『TPPと人・農地プラン』

七月二十七日(金)、オルテンシアにおいて、講師に大妻女子大学教授、田代洋一氏を招き『TPPと人・農地プラン』と題し講演会を開催しました。当日は、百二十人程の市民が集まり、TPPを取り巻く国内外の情勢、興味深く耳を傾けていました。

田代氏は、「一年前とほぼ変わらない情勢だが、政府が判断をくだせないというところは、それだけ容易なことではなく、慎重にならざるを得ない問題であるという証だ。また、TPPの本質はアメリカ多国籍企業が他国の国家主権に優先して利益を追求し、国は国民の生活や国内産業を失うであろう。」と訴えました。



「けっぱれ! 担い手」

今回ご紹介するのは、市内金木町芦野にお住まいの中村暁子さんです。

中村さんは、結婚を機にそれまで勤めていた金木病院をお辞めになったそうです。家庭菜園程度は、何年もやっていたそうですが本格的にやってみようと思ったのは、家の新築がきっかけだったそうです。

「家を新築したのですが、周りが農地ばかりでした。いつかは、農業をやってみたいと思ってたので、これは、チャンスだと思い、二年ほど前から農業を始めました。」と笑顔で話してくれた暁子さんでしたが、紆余曲折あったようです。「始めた時、一人でも何もわからず、試行錯誤の毎日でした。初めてのことばかりで、マニュアル通りにいかない。天候に大きく左右される上、野菜は価格変動が激しく、安定とは程遠い状況が続きました。」そんな苦労話の時でも、暁子さんの表情は生き生きとしています。「何も知らない、ゼロからスタートした私に、周囲の人達は、いろいろ教えてくれました。作業の加減がわからず、熱中症にかかってしまったり。初心者の私に、本当に良くしてくれました。人と人の繋がりを大切にしたい。素直にそう思えるようになり



ました。失敗ばかりですが、作物が成長していく過程、手をかけることによって、形になっていく、そのプロセスを今は楽しめるようになりました。」と話します。今はまだ、栽培品種をしばらくきれていないそうです。じゃがいもやナスなど、様々な品種を試し、土地に、そして自分の状況にあった品種を決めていきたいそうです。

「国や自治体の様々な優遇制度を利用して、耕作地を増やしていきたいという思いはあります。私の様に、ゼロからでも農業を始められるような環境を官民一体となり整えていけたらいいと思います。やはり、女性農業者ももっと増えてくれたらいいですね。」と話す暁子さん。夫の亮さんはそんな彼女を理解し、つまづいた時は、そっと手を差し伸べてくれる。彼女のバイタリティーの源はそこにあるようです。

『夕市』お月見セール開催します

夕市が、お月見セールと題して、9月29日(土)に「コミュニティセンター栄」駐車場で開催します。(9月28日(金)はお休みします。)

いつもの商品に加え、十五夜に供える、新鮮な果物、ススキなど、多数ご用意してお待ちしております。

9月からは、開催時間が、午後3時30分～午後4時30分までとなります。お間違えのないようお願いいたします。

『地産地消を進める会』では、随時会員を募集しております。夕市開催の他にも様々な活動しております。興味のある方は下記までご連絡ください。

▶連絡先 五所川原市農業委員会事務局 TEL 35-2111 (内線2774)

各種申請書の受付締め切り日について

当委員会では各種申請書の受付締め切り日を次のように設定しています。

◎農地法第4条申請書、第5条申請書

- 農地を農地以外のものとして使用する場合
例：資材置場・駐車場等

毎月末日締め切り(末日が市役所閉庁日の場合は翌日)

◎農地法第3条申請書、農用地利用集積計画書の同意、競売・公売買受適格証明願

- 農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合

毎月5日締め切り(5日が市役所閉庁日の場合は翌日)

◎あっせん申出書

- あっせんにより農地を貸借・売買する場合

毎月15日締め切り(15日が市役所閉庁日の場合は翌日)

※許可のポイント、申請から許可までの流れ、必要書類一覧表等については、農業委員会に備えています。

【問い合わせ先】

市農業委員会農地係 TEL 35-2111 内線2776

総会・部会の開催予定

◎平成24年9月農地部会・農業振興部会

【9月20日(木)】場所：五所川原市民学習情報センター

◎平成24年10月農地部会・農業振興部会・総会

【10月19日(金)】場所：五所川原市民学習情報センター

※法令により総会・部会等の会議は公開されております。また、会議録は農業委員会事務局にて閲覧できます。

【問い合わせ先】市農業委員会 TEL 35-2111 内線2771

認定農業者の相談

農業委員会では、認定農業者を希望する農業者の方々に対し、「農業経営改善計画認定申請書」の記入方法等について、相談日を設けております。(※金木地区、市浦地区の方は、各支所で受け付けております。)

相談日については、事前の予約が必要となりますので、農業委員会、各支所へ電話にてお申し込みください。※生産調整の達成、未達成は問いません。

農業の経営とくらしに
役立つ情報をお届けする



- 毎週金曜日発行
- B3版8～10頁建
- 購読料：月600円[送料、税込み]

◇購読のお申し込みは、お近くの農業委員または市農業委員会事務局までお願いします

編集後記

「けっばれ! 担い手」の取材で、気付いたことがある。収穫した作物を大切に扱う中村さんの手。大事に育ててきた野菜、無事収穫できることの喜び感謝。彼女の手から伝わってきた。

レスリングの小原選手が金メダルを獲得した時、顔を両手で覆って泣いていた。ごつごつした、彼女の手からは今までの苦勞、周りの人達への感謝、言葉で表現できない喜びを感じた。

甲子園決勝で敗れた球児達の涙を拭う、日焼けした手。三度も決勝に進んだ偉業の裏に、彼らの努力があることをその手に感じた。自分の手を、見た。少し、日焼けして皺も増えたがまだまだである。手は、人生そのものなのかもしれない。

農地情報 平成24年9月現在

下記の農地について、受け手を捜しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、事務局農地係へご連絡ください。

受付番号	区分	農地所在	地目	ほ場整備	面積(a)	利用状況	10a当り希望価格
35	売渡	持子沢字三原	田	済	139.5	休耕地	55万円 (応相談)
		高野字北原			4.0		
		高野字柳田			53.1		
		前田野目字長峰			18.3		
52	貸付	羽野木沢字隈無	畑		65.8	原野化	標準
61	売渡	原子字紅葉	畑		19.4	休耕地	15万円(応相談)
69	貸付 売渡	毘沙門字上熊石	畑		27.9	休耕地	交渉次第
76	売渡	金木町川倉字田野	畑		11.3	休耕地	30万円
79	貸付	金木町芦野	畑		19.8	休耕地	1万円
80	貸付	梅田字福浦	畑		30.1	りんご	1.2万円
87	交換	藻川字間手川	田	済	138.5	水稲	畑との交換希望
89	貸付	飯詰字狐野	畑		24.9	休耕地	標準
		飯詰字桜田	田	未	31.3		標準
94	売渡	金木町嘉瀬萩元	畑		3.5	休耕地	5.5万円
96	貸付	漆川字清水流	田	未	60.8	水稲	米2俵の価格
97	売渡	金木町芦野	田	未	40.8	休耕地	交渉次第
98	売渡	下岩崎字尾花原	田	未	22.05	麦	20万円
		下岩崎字駒返	田	未	19.13	麦	20万円
101	貸付	金木町嘉瀬上端山崎	田	未	30.99	水稲	全部で米4俵
105	売渡	長富字鎧石	田	未	65.0	水稲	交渉次第
107	貸付	小曲字沼田	畑		8.5	休耕地	無償貸与
108	売渡 貸付	神山字山越	畑		63.2	りんご	売渡20~25万
		神山字山越	田	未	73.09	休耕地	貸付交渉次第
117	売渡	金木町嘉瀬駒留	田	有	1.70	水稲	交渉次第
118	売渡	金木町嘉瀬駒留	田	有	3.92	水稲	交渉次第
120	貸付	金木町喜良市坂本	畑		19.17	休耕地	5千円~1万円
121	貸付	金木町喜良市坂本	畑		13.63	休耕地	5千円~1万円
122	貸付	金木町喜良市坂本	畑		13.71	休耕地	5千円
123	売渡 貸付	金木町喜良市坂本	畑		25.90	休耕地	応相談
124	売渡	高瀬字鷹ノ爪	田		25.27	そば	15万円
125	貸付	原子字山元	畑		31.66	休耕地	無償貸与
126	売渡	金木町芦野	畑	無	9.50	休耕地	応相談
127	売渡 貸付	俵元字松代	田		0.67	休耕地	応相談
		原子字紅葉	畑		32.54		
		豊成字田子ノ浦	田		2.15		
128	売渡 貸付	金木町嘉瀬雲雀野	畑		8.41	休耕地	応相談
129	売渡	金木町喜良市弓矢形	畑		19.50	休耕地	応相談
130	売渡	金木町喜良市坂本	畑		10.61	休耕地	応相談
131	貸付	金木町芦野	畑		9.10	休耕地	応相談
132	売渡	藻川字千年	田	済	5.93	水稲	30万
		藻川字光范		済	67.97		
		藻川字川袋		無	21.11		
		鶴ヶ岡字福田		済	67.21		
133	売渡	金木町川倉外沢	田	済	44.96	水稲	30万

※農地を売りたい貸したい方、買いたい借りたい方は、農業委員会にご相談ください。